

週とおかまら報

週報とおかまら社/新潟県十日町市下川原町 TEL(025)757-1756 FAX757-5135 発行人 村山 武

トイレットペーパーが大人気 障害者の自立と就労支援 NPO「あんしん」6周年感謝の集い



「あんしん」で働く人達などで手話による歌

障害者の自立支援と就労の拡大をめざすNPO法人・支援センターあんしん(本田欣二郎会長)の「6周年感謝の集い」が、22日(日)クロス10大ホールで開かれ、関係者、一般400人が参加した。

平成14年9月にNPO法人(特定非営利活動法人)を取得。障害者が通所で作業できるワークセンターを開設した。同作業所では職業指導員が3人、生活支援員が3人居り、現在の登録者は42人いる。主な授産事業としてトイレットペーパーの生産・販売を行っており、今年度は50万個の販売を目標にしている。

また、障害者デイサービス

センターでは個別活動や入浴サービス、休日余暇支援などを行っている。他に児童の日中一時預かり支援、障害者が自立して暮らせる生活環境を提供するグループホーム若竹(6人入居)、同やすらぎの家(5人入居)を運営している。さらに十日町小学校内にある小出養護学校ふれあいの丘分校に学ぶ児童の送迎を行っている。

「6周年感謝の集い」は障害者福祉の充実、関係者の連携を強めていくために開催された。本田欣二郎会長が開会の挨拶を行い、ワークセンターは職員2人、身障者2人でスタートした。これまで中越大地震で工場

が全壊の被害を受け、2年続きの豪雨にも見舞われた。全国から支援を頂き、災いを福と転じるよう事務所や作業所が復活できた。応援に心から感謝する。これらを克服して現在があり、42人が登録して働いている。それをスタッフやボランティア40人が支えている。トイレットペーパーを使ってもらっている団体や事業所、個人にも支えられている。障害者のため、地域になくてはならない「あんしん」として今後も頑張っていきたいと礼や姿勢を述べた。田口直人市長の代理で来賓として出席した大島貞二副市長は「トイレットペーパーは市でも使っており、

キリンビールからも1昨年からの協力してもらっている。最近ではグレードアップしてどこに出しても恥ずかしくない物になり大勢が使っている。贈答品に使えるケースも作られている。働く喜びと生きがいの大切さが伺え、年々働く人が増え喜んでいる。障害者が健常者と共に働き、地域の大きな存在となっている「あんしん」の今後の発展を願う」と激励した。

このあと、地域の芸能団体や「あんしん」メンバーなどのアトラクションが行われた。また富山市の知的障害者楽団「ラブバンド」による演奏も披露され会場に感動を呼んだ。